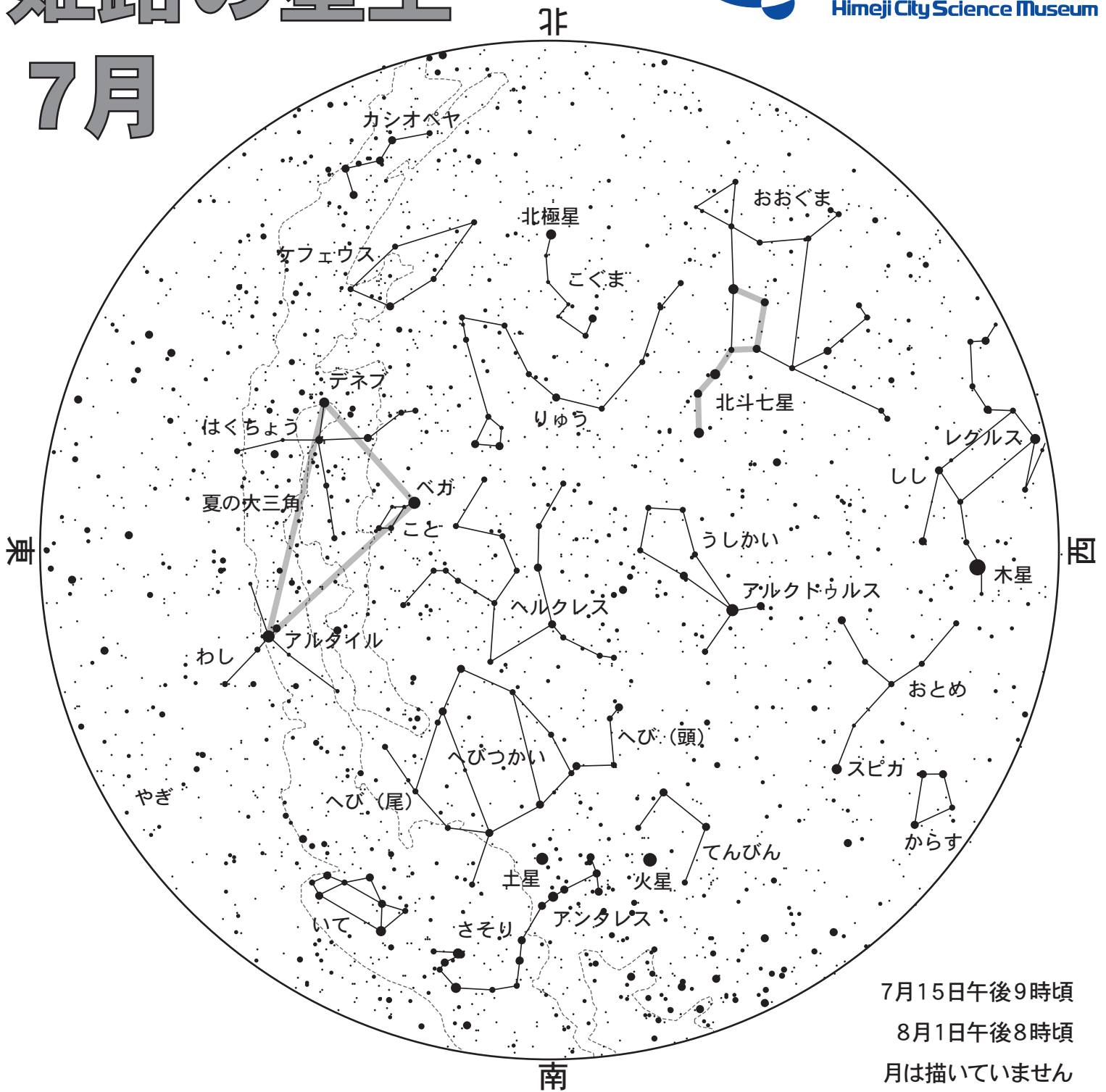


7月



7月15日午後9時頃

8月1日午後8時頃

月は描いていません

明るい惑星

南の空に火星と土星が見えています。火星はてんびん座からさそり座へ移動中です。環で有名な土星は、星の子館の天文台の観望会で8月14日まで観察できます。

春の星 (西の空)

北斗七星が北西の空に見え、北極星を探す目印にもなります。北斗七星の柄のカーブを南に伸ばした「春の大曲線」をたどると、うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカが見つかります。

夏の星 (東の空)

南にさそり座のアンタレス、東の空に夏の大きな三角が見えています。大三角を作るのは、こと座のベガ (織女星)、わし座のアルタイル (彦星)、そして、はくちょう座のデネブです。七夕の星たちは8月9日の月遅れの七夕の方が宵の空高く上るので、7月7日よりも見やすくなります。夏の大きな三角に重なるように天の川が見えるようになります。かすかな光なので、街明かりや月明かりの邪魔のない空が澄んだ夜に、暗闇に十分目を慣らして探してみましよう。